

志免四だより

令和7年6月
第183号

発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
発行責任者
志免四公民館主事
日高 勲
編集・構成・作成
総務部 熊本 仁



特殊詐欺被害防止特集 第2弾

ニセ電話詐欺の被害が急増中！

先月に引き続きニセ電話詐欺に関する情報提供いたします。福岡県内のニセ電話詐欺の被害状況は依然として深刻な状況だそうです。被害件数も被害額も急増しています。被害者も高齢者に限らず、拡大しているそうです。まさか自分が当事者にはならないだろう。そんな心のスキが狙われています。今回は警察庁の「特殊詐欺対策ページ」に掲載されている詐欺の手法を紹介いたします。このようなニセの勧誘に乗せられないようご注意ください。



＜キャッシュカード詐欺盗＞
警察官などと偽って電話をかけ「キャッシュカードが不正利用されている」「預金を保護する手続をする」などとして、嘘の手続きを説明した上で、キャッシュカードをすり替えるなどして盗み取る詐欺です。

＜詐欺の手口＞
電話での説明後に「キャッシュカードの確認に行く」などの名目で私服警察官や銀行員等になりすました犯人が自宅を訪れ、被害者が目を離している隙に、あらかじめ用意しておいた偽のカードと本物のカードをすり替え、被害者が気づかない内に口座から現金を引き出してしまいます。



＜還付金詐欺＞
税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上の不法の利益を得る詐欺です。

＜詐欺の手口＞
自治体、税務署、年金事務所の職員などと名乗り、医療費・保険料の過払い金や、一部未払いの年金があるなど、お金を受け取れるという内容の電話をかけてきます。被害者が犯人の指示通りにATMを操作すると、実際には犯人側の口座にお金振り込まれる手口です。払い戻しには期限があると焦らせた上で、今すぐ携帯電話を持って近くのATMに向かうように指示をします。

＜架空料金請求詐欺＞
未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし金銭等をだまし取る詐欺です。

＜詐欺の手口＞
未納料金が発生しているなどの名目で、携帯電話にショートメッセージが送られたり、法務省や裁判所などの名称で自宅にはがきを送付されたりします。SMSやはがきを受け取った被害者が本文に記載された電話番号に電話をかけると、「払わなければ裁判になる」「今日払えば大半が返金される」などと言われ、払ったほうが良いと思い込まされてしまいます。

＜預貯金詐欺＞
自治体や税務署の職員などと名乗り、医療費などの払い戻しがあるからと、キャッシュカードの確認や取替の必要があるなどの口実で自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る詐欺です。

＜詐欺の手口＞
キャッシュカードの確認・取替が必要だと信じ込ませた上で、その後、銀行協会等を名乗る犯人から電話があり、「キャッシュカードを取りに行く」、「手続きのため暗証番号を教えてください」などと情報を要求してきます。

こんな電話を受けたら、一人で行動せずに、まずは家族や知人に相談しましょう。近くに相談する人がいないときは、すぐに警察（粕屋警察署生活安全課）に連絡しましょう。
☎939・0110

6月公民館行事予定

- ※うきうきルーム（総務部）
【日時】6月9日（月） 10時～
- ※新人生歓迎会（育成部）
【日時】6月14日（土） 10時～
- ※和（なご）みカフェ（福祉部）
【日時】6月24日（火） 10時～13時

7月公民館行事予定

- ※豊夢部屋「七夕会」
【日時】7月5日（土） 10時～
- ※資源物回収（育成部）
【日時】7月13日（日） 8時～
- ※うきうきルーム（総務部）
【日時】7月14日（月） 10時～
- ※和（なご）みカフェ（福祉部）
【日時】7月22日（火） 10時～13時

梅雨の備えは大丈夫？

まもなく梅雨本番。梅雨が明けると台風シーズン、と大雨への警戒が高まる季節です。参考までに、気象庁のホームページに掲載されている家庭での大雨対策を紹介いたします。

■非常用品の確認

懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池）、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など

■室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろす。

■水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する。

家の外でも、側溝や排水口は掃除して水をけを良くしておくことや、風で飛ばされそうな物は飛ばないよう固定したり、家の中へ格納すること、などが注意喚起されています。



公民館で楽しもう！

5月も志免四公民館ではいろいろな楽しい催しを行いました。5月17日（土）は「楽しく食べて語ろう会」。



37名の参加で、食事前に方言ラジオ体操で身体をほぐした後、いろんな早口言葉で口腔体操、次に間違いないで脳トレを行いました。最後はみんなビンゴゲーム。全員景品をもらって大喜び。



食事は婦人部員とボランティアの皆さんで美味しいちらし寿司を作っていただし、みんなで楽しいひと時を過ごすことができました。

梅雨の備えは大丈夫？



5月12日（月）は「うきうきルーム」でした。今回はiPadを使って日本地図クイズや一筆書きクイズや一筆書き迷路クイズ、漢字検定問題にチャレンジなど、みんな脳トレを楽しみながらiPadの操作にも慣れる練習をしました。



5月27日（火）は「なごみカフェ」（居場所活動）です。毎回、囲碁やオセロ、麻雀、カードゲームなどを参加者それぞれに和気あいあいと楽しみながら遊んでいます。

まだ志免四公民館の会場にはゆとりがありますので、参加されたことのない方や最近ご無沙汰の方々の参加をお待ちしています。公民館で楽しみましょう！

地域の防災力

6月に入り、空模様が一変。空模様が気になる季節となりました。「うちはハザードマップで安全な地域だから大丈夫」と思っている皆さん、実は、想定されているような大雨や洪水、土砂崩れなどの災害が、近年全国で相次いでいます。ハザードマップはあくまで「目安」であり、「安全を保証するものではない」という意識を持つことが大切です。

防災対策として見落とされがちなのが「地域での助け合いの力」です。災害時には、公的な支援がすぐに届かないことが多く、最初に頼れるのは近所同士のつながりです。普段からあいさつを交わして顔見知りになっておくことで、「あのお宅は高齢の方がひとりで暮らしている」「この家は小さな子どもがいる」などの情報がつながり、非常時に必要な支援が迅速に届きやすくなります。

また、孤立を防ぐという点でも、地域のつながりは大きな意味を持ちます。災害時には不安や混乱がつきまわりますが、知っている人が近くにいることで、精神的な安心感を得ることができ、避難行動を早めたり、助け合いのきっかけとなったりするのです。

雨の時期は、災害への備えを見直す絶好の機会です。「自分の家は大丈夫」「まだ大丈夫」と思わず、もう一歩先の備えを。地域全体が「支え合う力」を持てば、それは何よりの防災になります。

はじめとした季節こそ、心は晴れやかに。日々の備えと、やさしい声かけから始める防災で、安心できる町をつくっていきましょう。